

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	26	事業名	一次産業者等への事業化促進強化事業			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	13	施策名	実効性の高い会員加入促進運動の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景									
会員数の減少に歯止めがかからず、商工会の組織力低下が懸念されているなか、会員増強による組織基盤の強化につながる取組が求められている。									
2. 事業のねらい									
経営形態が多様化してきている中で、一次産業者の商業分野への進出を促し、商工会への加入対象者の増大を図る。									
3. これまでの評価結果									
		過年度	H29	-	H30	C	R1		R2
平成30年度に策定した「商工会加入強化ガイドライン」において、農業等新分野へのアプローチ法も示し、関係機関との情報交換や各種会議での検討に参画している。									
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応									
関係機関との連携を引き続き強化するとともに、地域の実態把握に向けた調査を実施する。									

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
63	新規会員加入につなげる新分野(農業等)への経営支援の強化	ガイドラインに基づき、道の駅出品者等への商業化に向けたアプローチを行っているが、大きな成果にはまだつながっていない。	a	c	a	B
64	既存会員の商工会活用度の向上	会報やFacebookページ、プレスリリースにより商工会のPRを図っているが、満足度調査等を実施していないため定量的な成果は見えていない。	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)																		
取組コード						取組コード						取組コード						
指標名						指標名						指標名						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標						目標						目標						
実績						実績						実績						
達成率						達成率						達成率						
達成度						達成度						達成度						

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価										
【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性					【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					a
〈評価の理由〉										
商工会の組織基盤強化のためには、加入対象者の拡大を図ることが必要であり、一次産業者等を対象とした事業化支援は必要性が高い。										
【有効性の観点】 事業目標の達成状況					【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					b
〈事業の目標は達成されているかどうか〉										
「商工会加入強化ガイドライン」に基づき、各商工会でそれぞれ取組を実施しているが、成果の把握に取り組んでいないため、見える化されていない。										
【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況					【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					a
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉										
各商工会で「商工会加入強化ガイドライン」に基づくアプローチを行うことで効率化が図られているとともに、SNS等の活用による情報発信により時間と費用のコスト縮減につながっている。										
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合										B
「商工会加入強化ガイドライン」に基づき、各商工会でそれぞれ取組を実施しているが、成果を把握する仕組みがないことから取組の見える化が図られていない。										
3. 課題										
一次産業者等に対し、事業化に向けた支援事例や商工会活動の満足度調査等の成果を紹介し、プロモーションを強化する仕組みが必要である。										
4. 今後の対応方針(改善点)										
各商工会の取組や支援事例を県連合会内に蓄積し、PRする仕組みを構築する。										